

住まいと暮らしを考える
ラボ型コミュニティ

UXD KURASHI LAB.

第1期レポート

2020年10月～12月実施

はじめに

“New Norm-新しい生活様式”へのシフトが進む中、これからの住まい・暮らしの在り方はどう変わるのか？当社では、複雑な環境要因の中で変わる消費者のニーズを捉えるべく、住まいや暮らしに特化して話せるオンラインコミュニティ“UXD KURASHI LAB.”を開設し、メンバーの興味・関心に寄り添った情報や体験機会を創出することによる行動変容を調査してまいりました。本レポートは、2020年10～12月に行われた第1期ラボメンバーの関心や動向を調査したレポートとなります。

調査概要

調査対象者 東京・千葉・神奈川・埼玉・大阪・京都・兵庫の7都府県の在住者で、住まいや暮らしについて興味のある25～45歳の男女を対象に一般公募の上、100名を選出

調査期間 2020年10月16日～12月25日にオンラインコミュニティに参加してもらい、活動開始前後、活動中の行動や変化をアンケート、インタビュー、座談会などにより調査

UXD KURASHI LAB.とは？

多様な価値観の中で「正しい暮らし」なんてない時代。
一人で考えるのではなく、対話や体験を通じて
新しい視点を得ること、本気で相談できる人と考えること。
そのような、みんなで答えを見つけていく機会が必要です。

UXD KURASHI LAB.は、

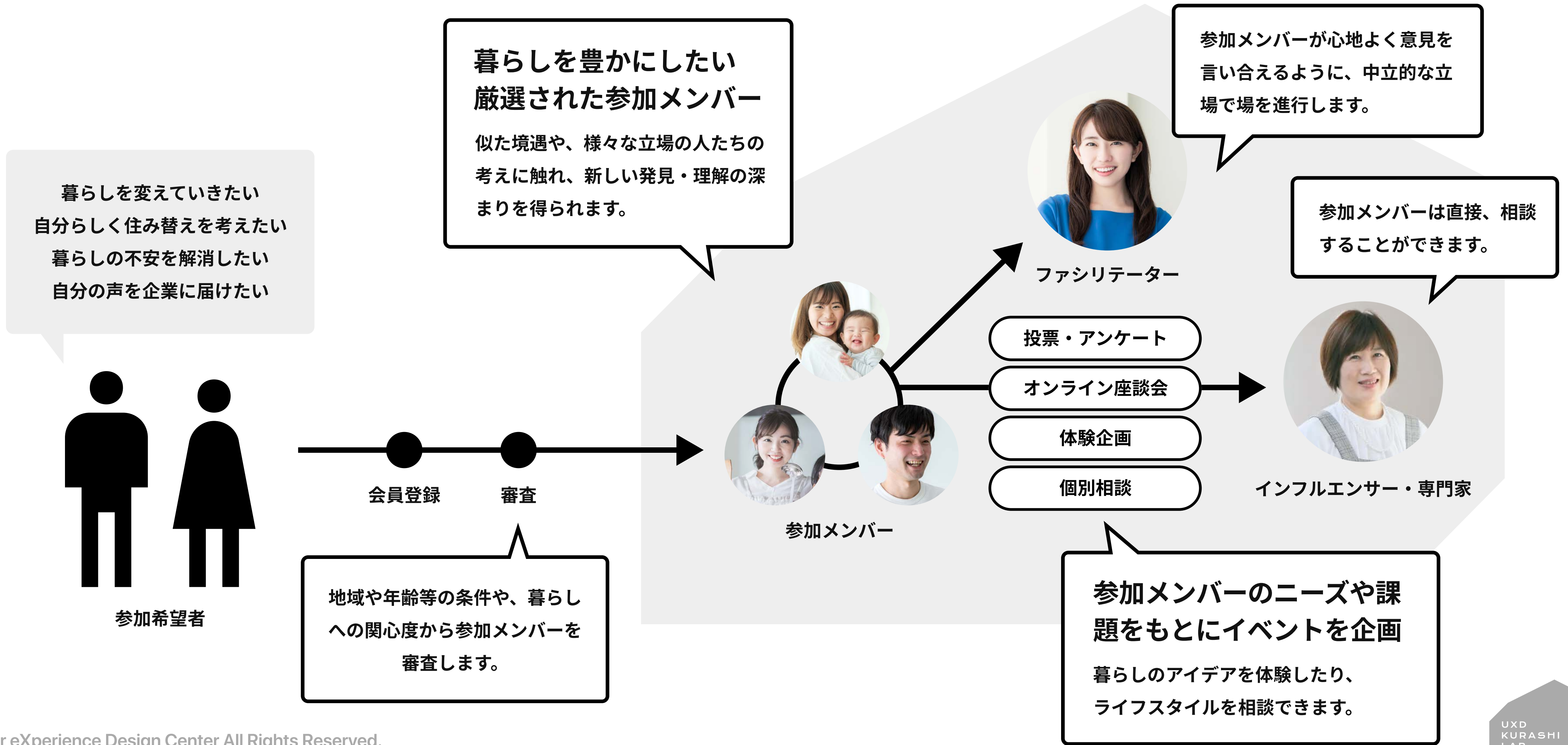
**消費者の課題意識を知り、
新たな価値を創造する場**として

活動、運営しています。



感染症への脅威が長期化し、
新たな生活様式を
現実的なものにするため、
様々な環境下にある消費者が
試行錯誤をはじめた。





暮らしを真剣に考える メンバーだけが集う場

暮らしを良くしたいと考える人だけのコミュニティ。匿名性ですが、参加メンバープロフィールも充実し、お互いがどんな人なのかを感じられる距離感です。クローズドコミュニティなので、自分の悩みを素直に共有できます。

ファシリテーターが 対話の場をデザイン

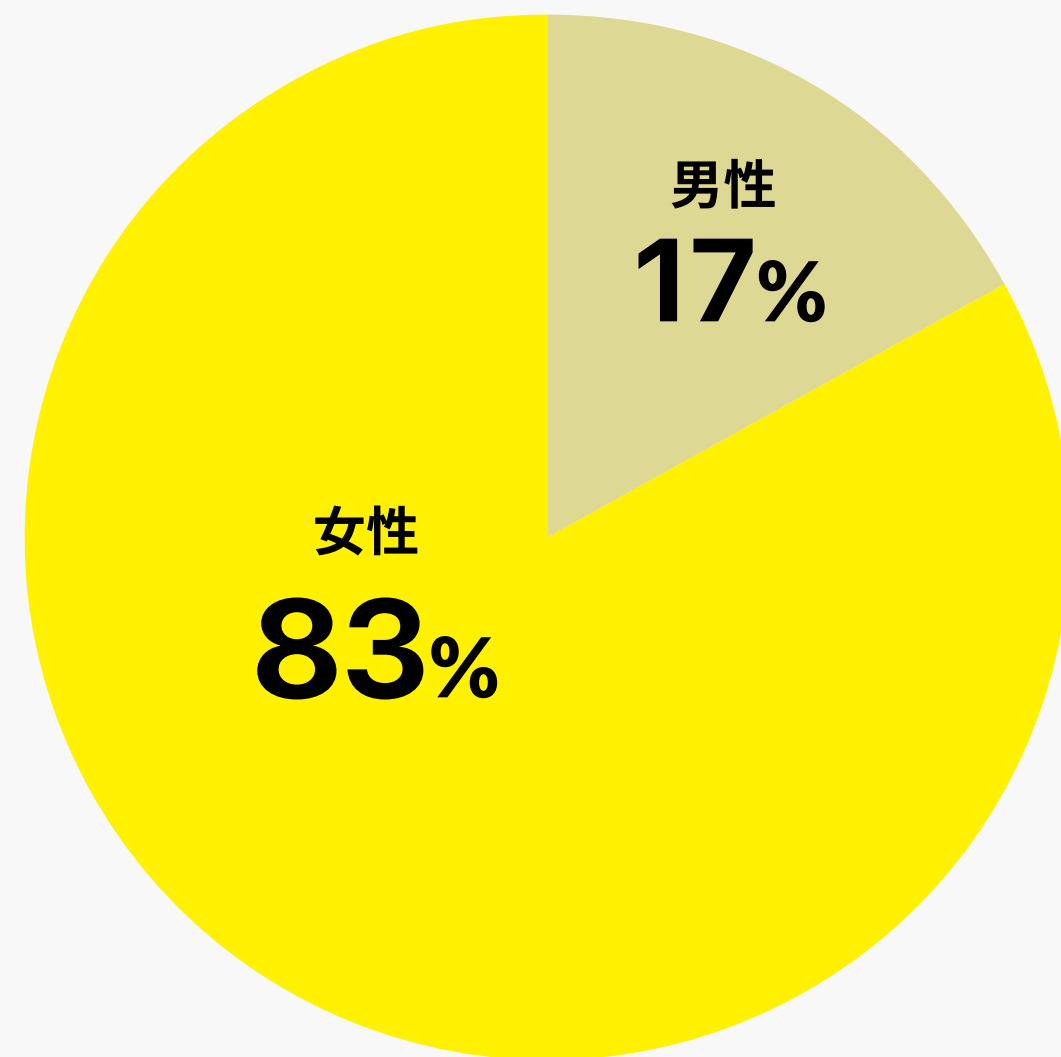
自分の意見を言ったら否定されそう、「マウント」されそう…。そんな心配は要りません。ファシリテーターが場を仕切り、穏やかに進行します。一人ひとりに耳を傾け、お悩み解決や理想の暮らしの実現をサポートします。

中立な姿勢で、 暮らしを深化する

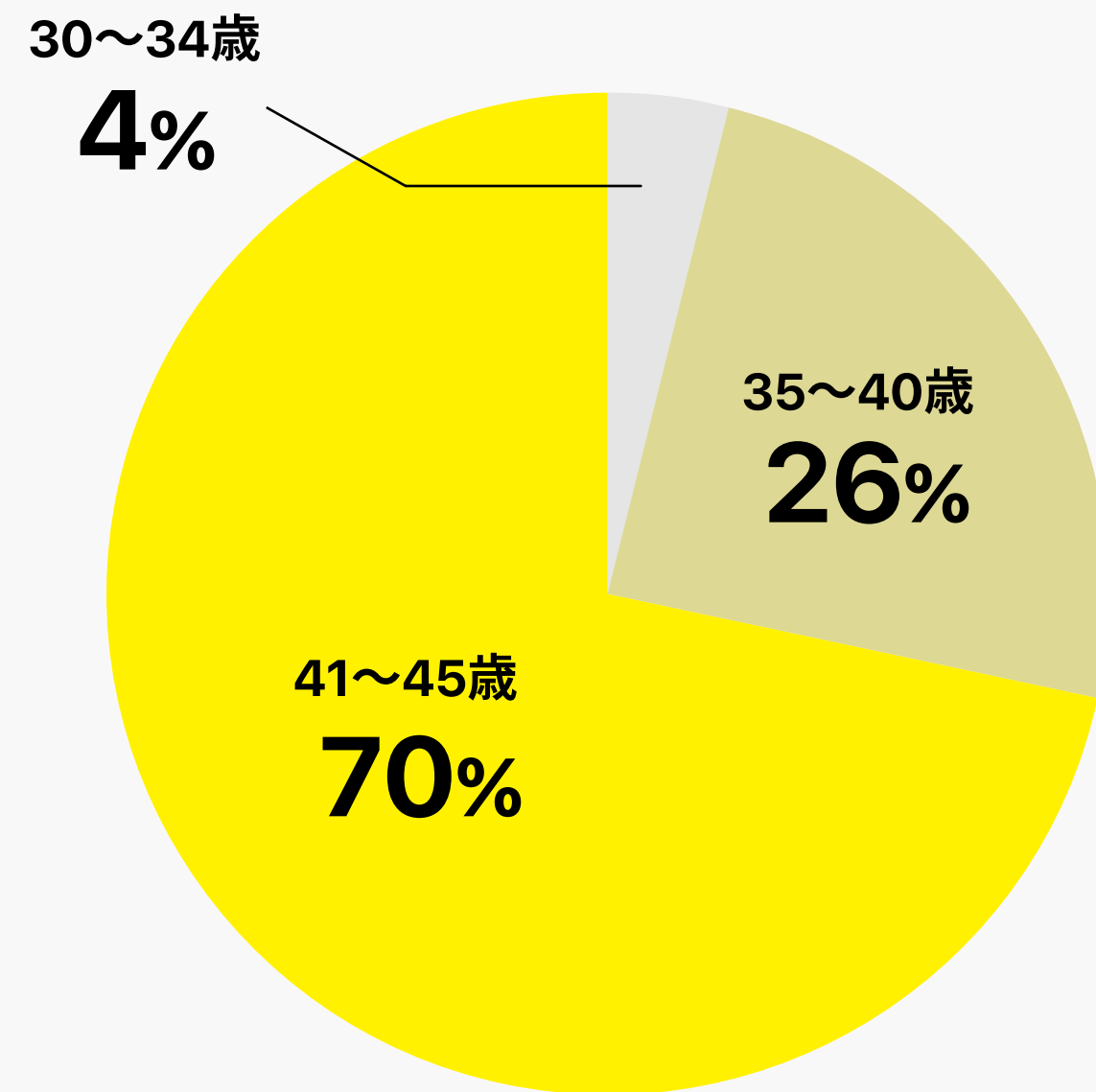
UXD KURASHI LAB.は暮らしの正解を求めません。押し付けません。参加メンバー、ファシリテーター、専門家、協力企業、全てに中立でフラットなコミュニティを運営します。

3か月1タームの期間限定コミュニティで、ラボメンバーが密度高く「暮らし」という広範なテーマに向き合うことにより興味・関心を深めていく

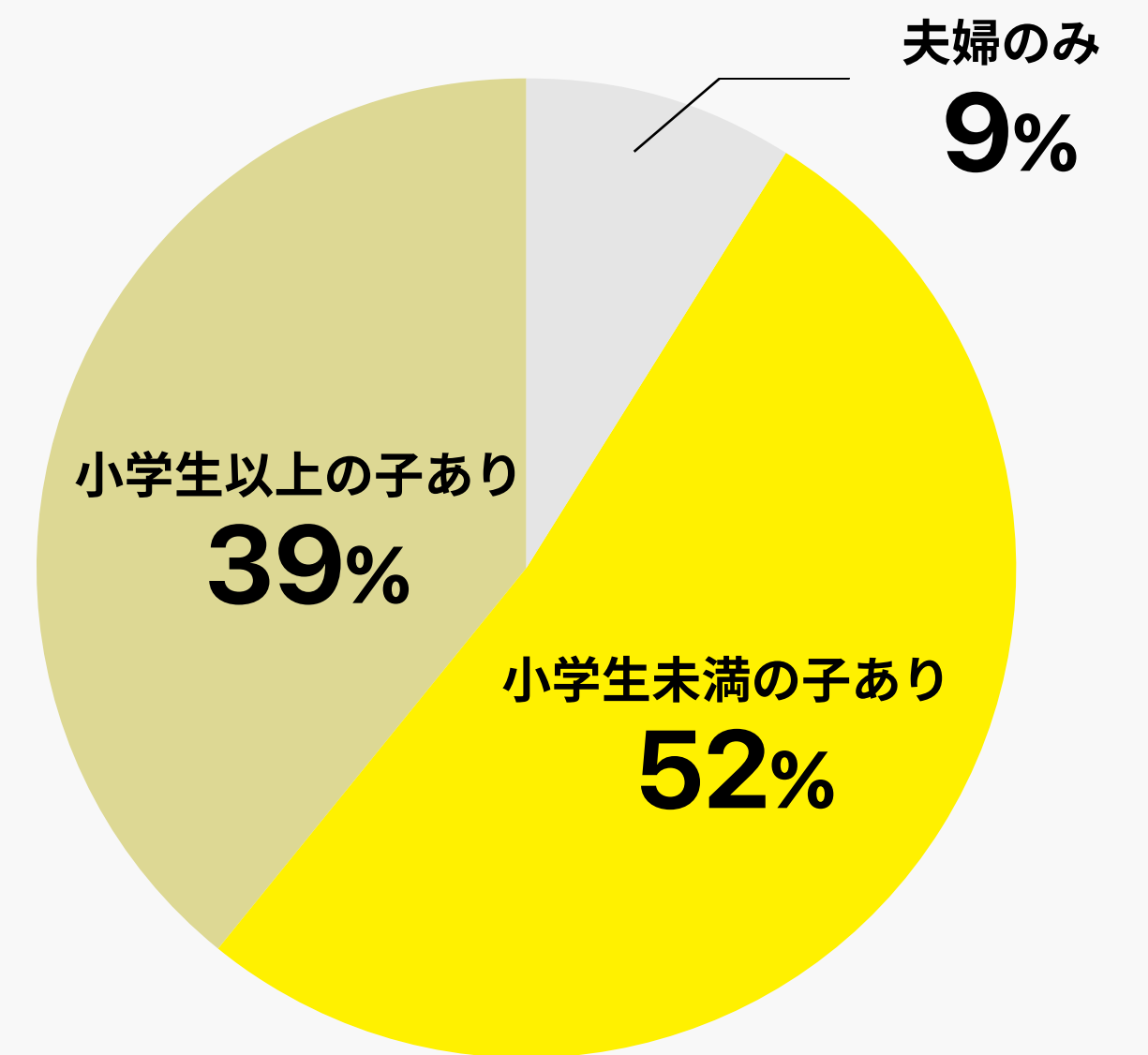
性別



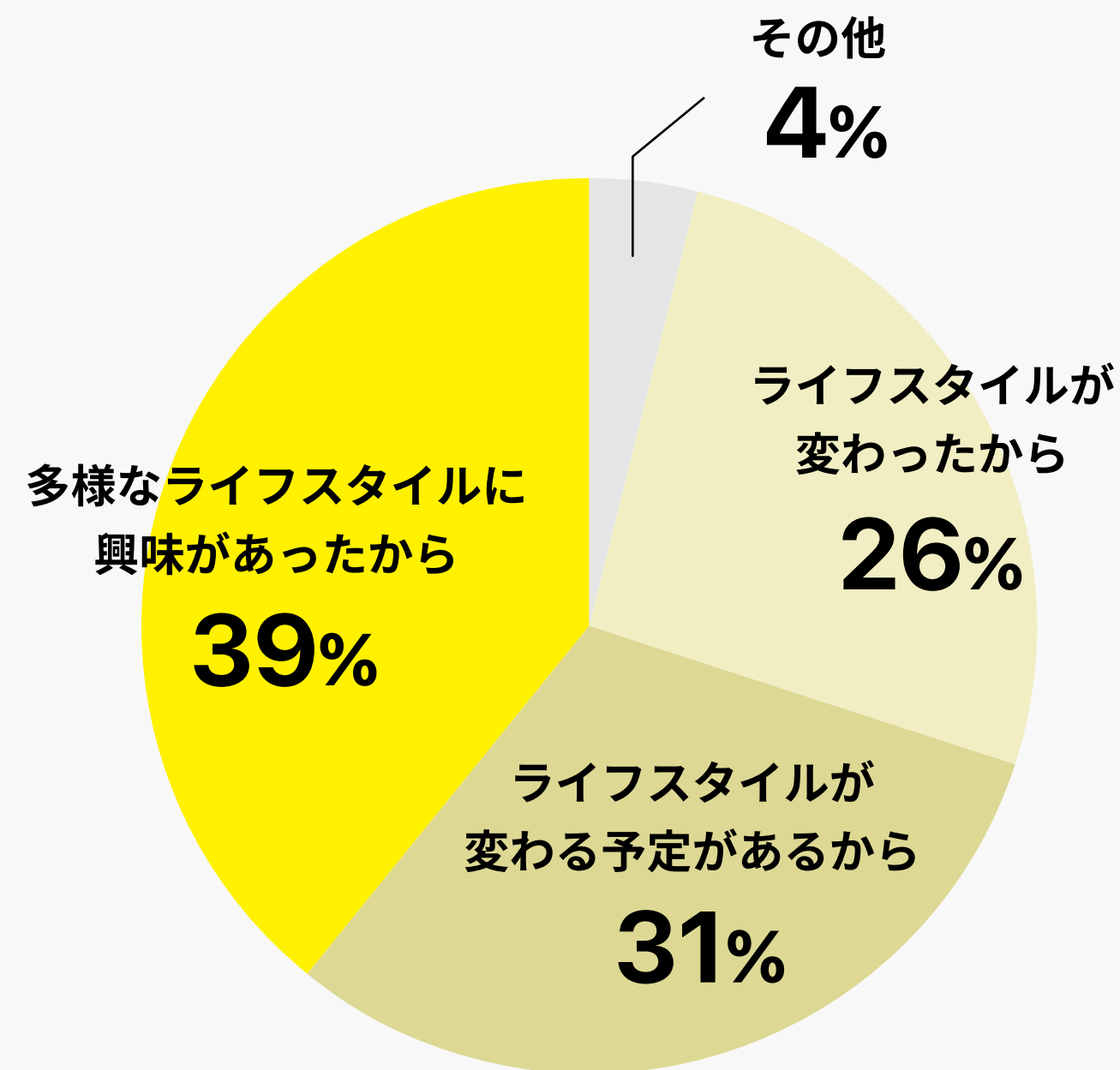
年齢層



家族構成



※ラボメンバー 100名中、最終アンケート回答者23名のデータをもとに作成



「その他」回答の内容

二拠点居住の充実と将来の移住について考えるため

多様なライフスタイルに興味があったから

いまは育休中で、改めて自身の暮らしを見直しています。
日々の生活のストレスを取り除いて、日々の生活を心地よく
できたらなあと思っています (女性・40代・子供あり)

中古住宅を購入したので、自分で修繕やリフォームなどをし
て、自分なりのライフスタイルを確立していきたくった。
(男性・30代・子供あり)

ライフスタイルが変わる予定があったから

住み替え検討中で、住まいに関する知識を得たかった
(女性・40代・子供あり)

都内から地方への移住を検討しているときで、何か参考にな
る情報を得られればと思ったから (女性・30代・子供あり)

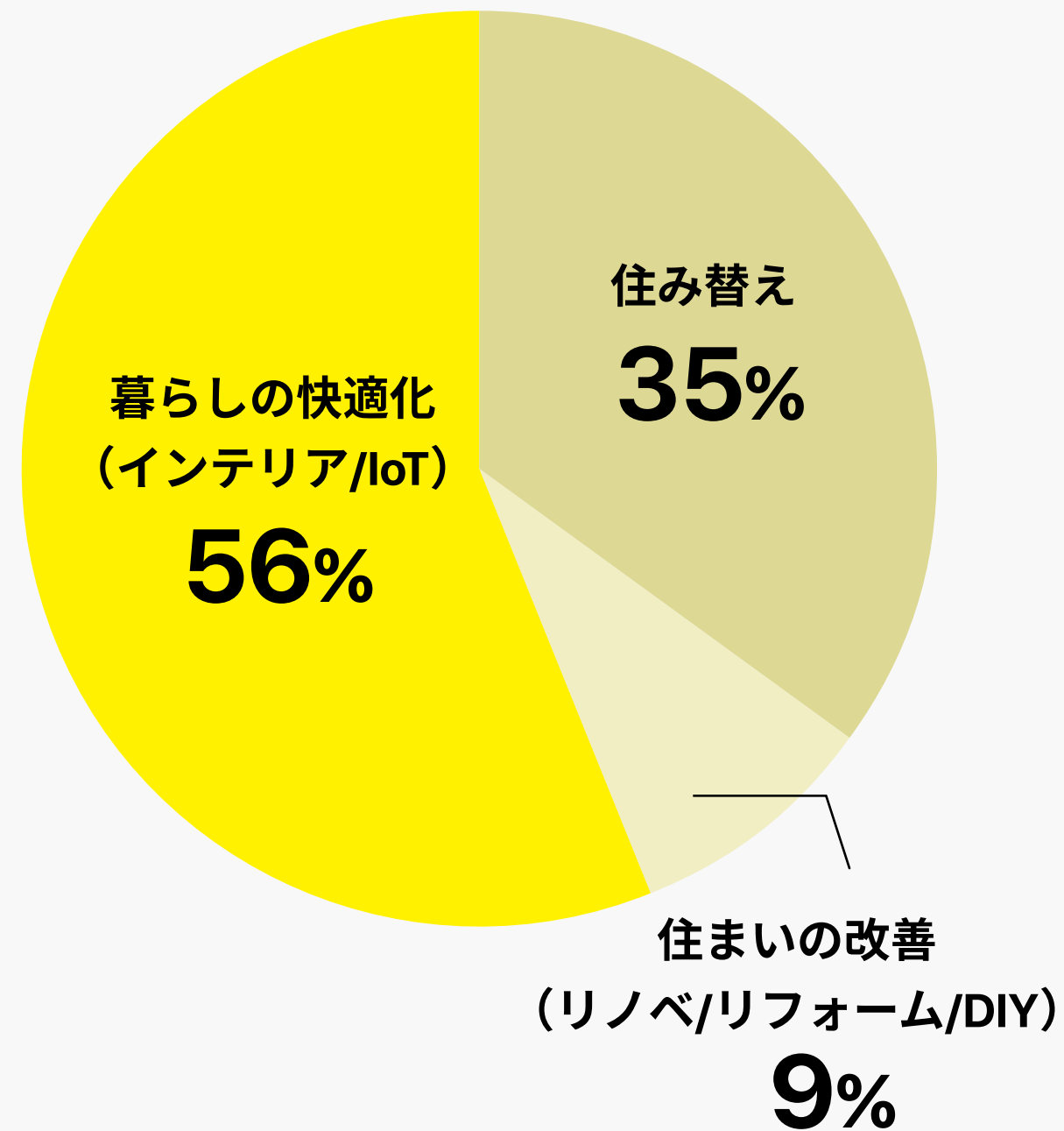
ライフスタイルが変わったから

今年7月末に新居に引っ越し、新しいライフスタイル・住環
境を家族のため自分のために、より良いものにしていきたく
と思ったため。 (女性・40代・子供あり)

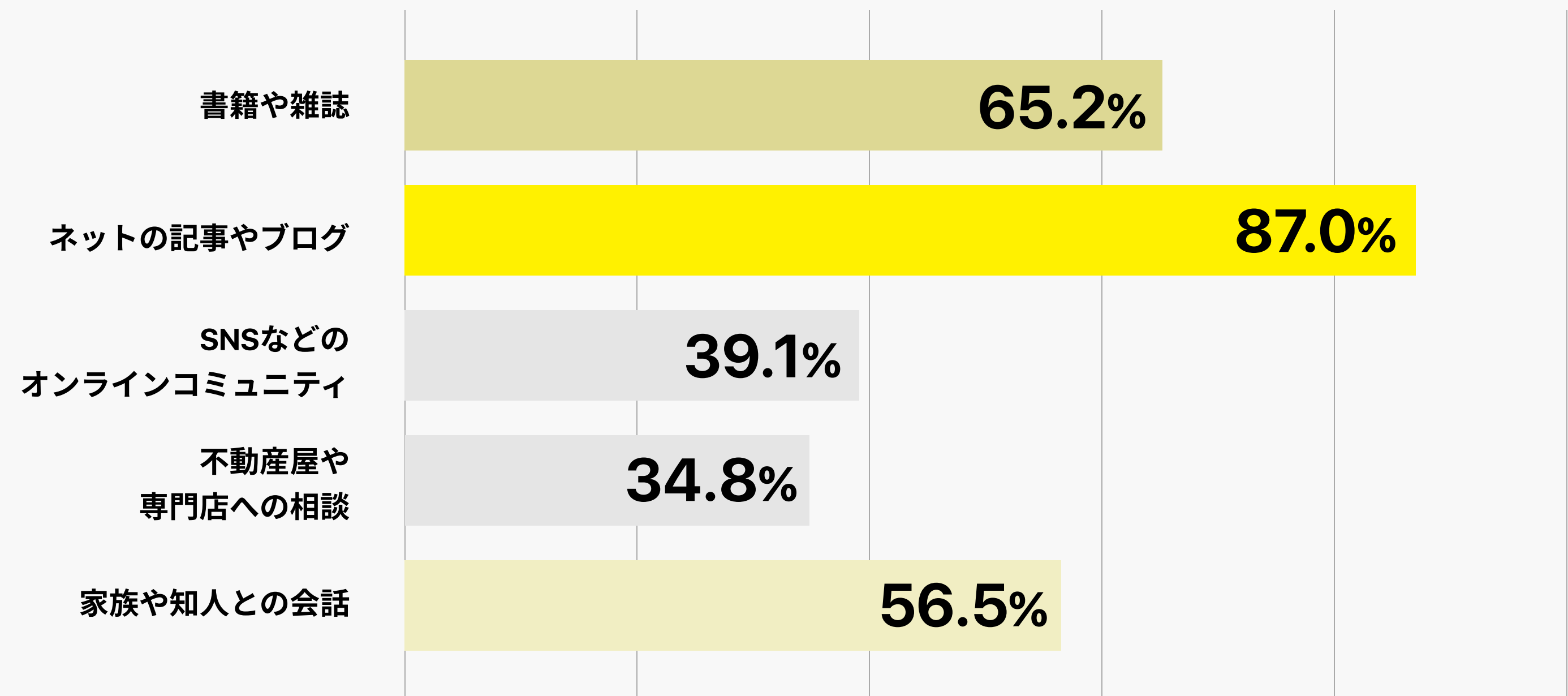
現在、コロナ禍で夫も私も在宅ワークになる働き方になりま
した。住まいはとても大きな、でも検討意義のある課題と感
じ申し込みました。 (女性・40代・子供あり)

**「多様なライフスタイルに興味があったから」が最も多く、また、
二拠点居住や地方移住など、コロナ禍で将来の暮らしの在り方を模索している人も。**

興味・関心をもっていた活動



これまで行っていた情報収集 (複数回答)



50%以上がインテリア・DIY・IoTなどの暮らしを快適にする活動、30%以上が住み替え活動を検討。

情報収集源としては、50%以上がネット、書籍、家族や知人との会話であった。

実施概要

体験
レッスン



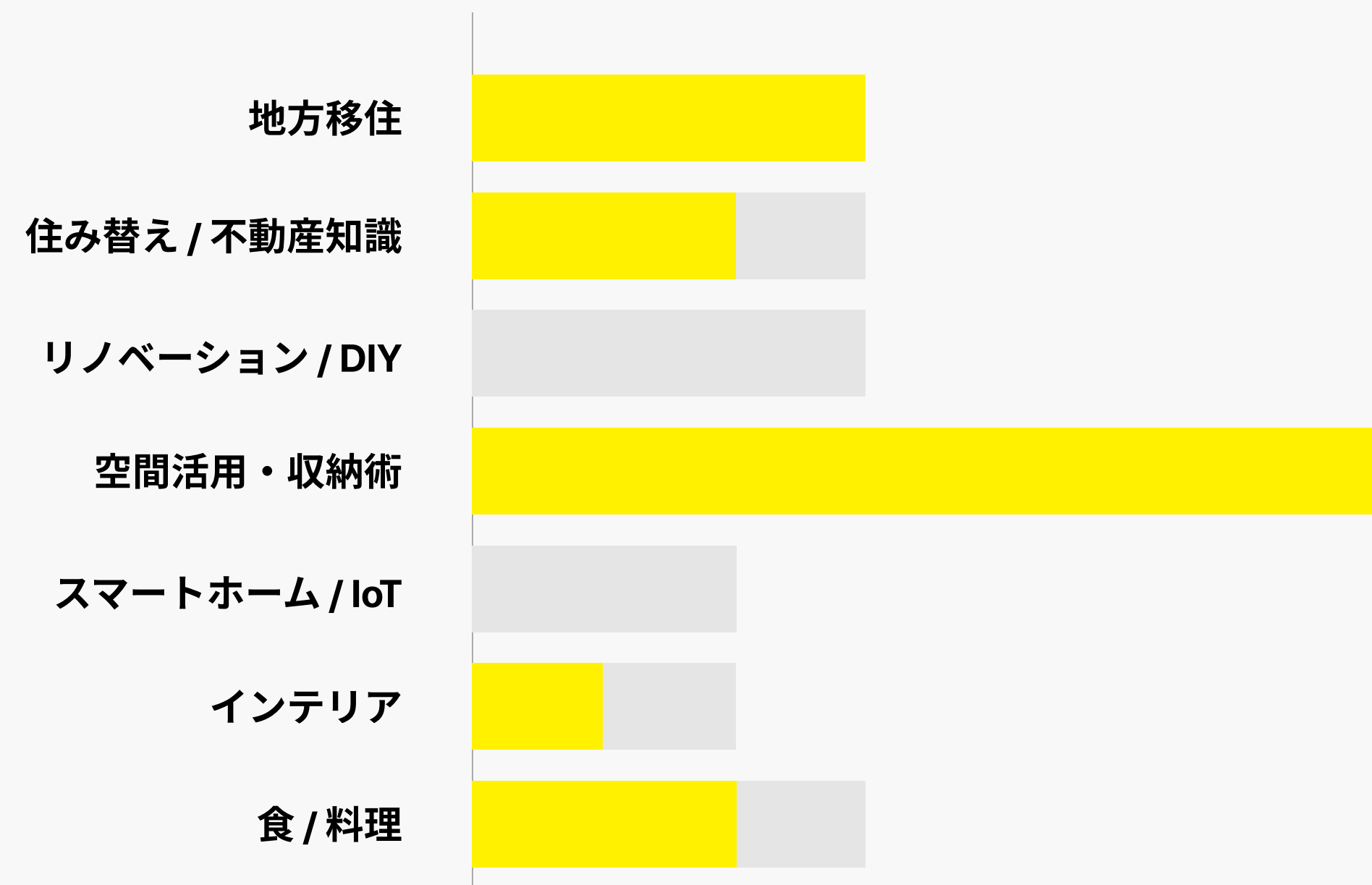
ライブ
ツアー



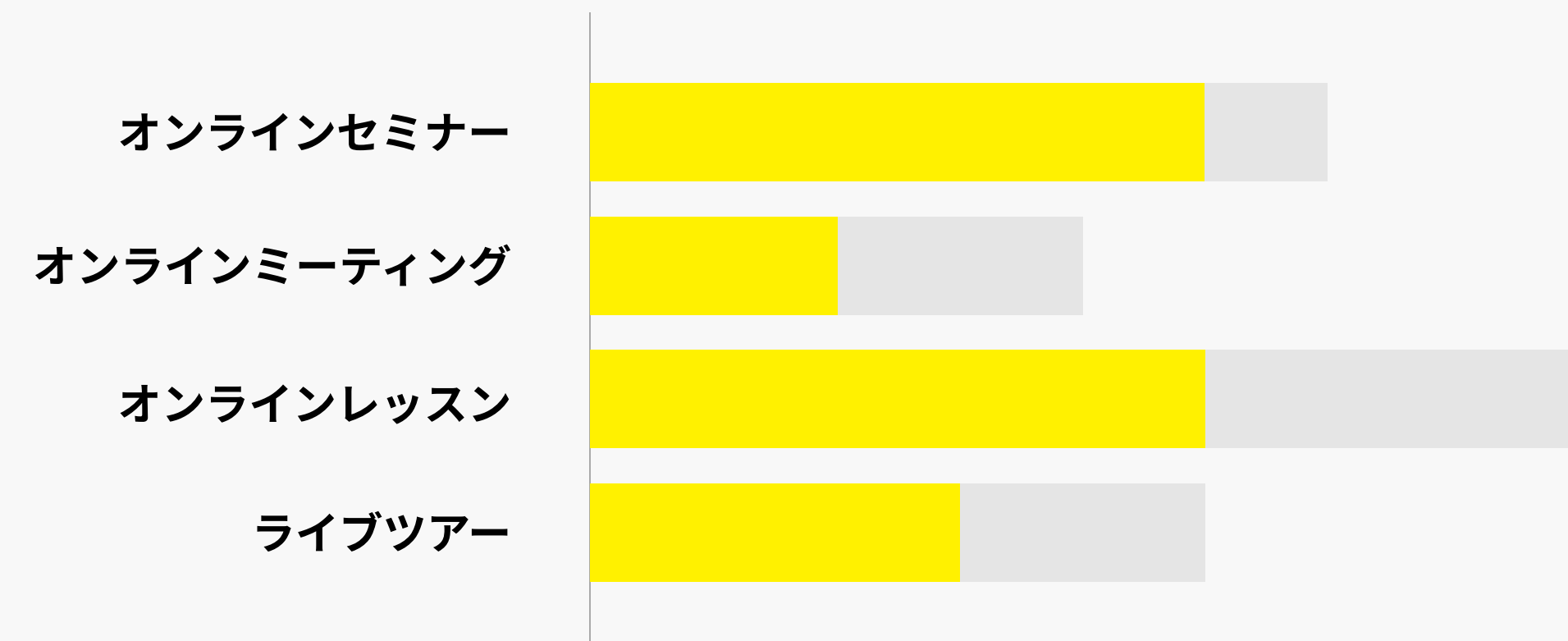
トーク



最も興味深かったテーマ



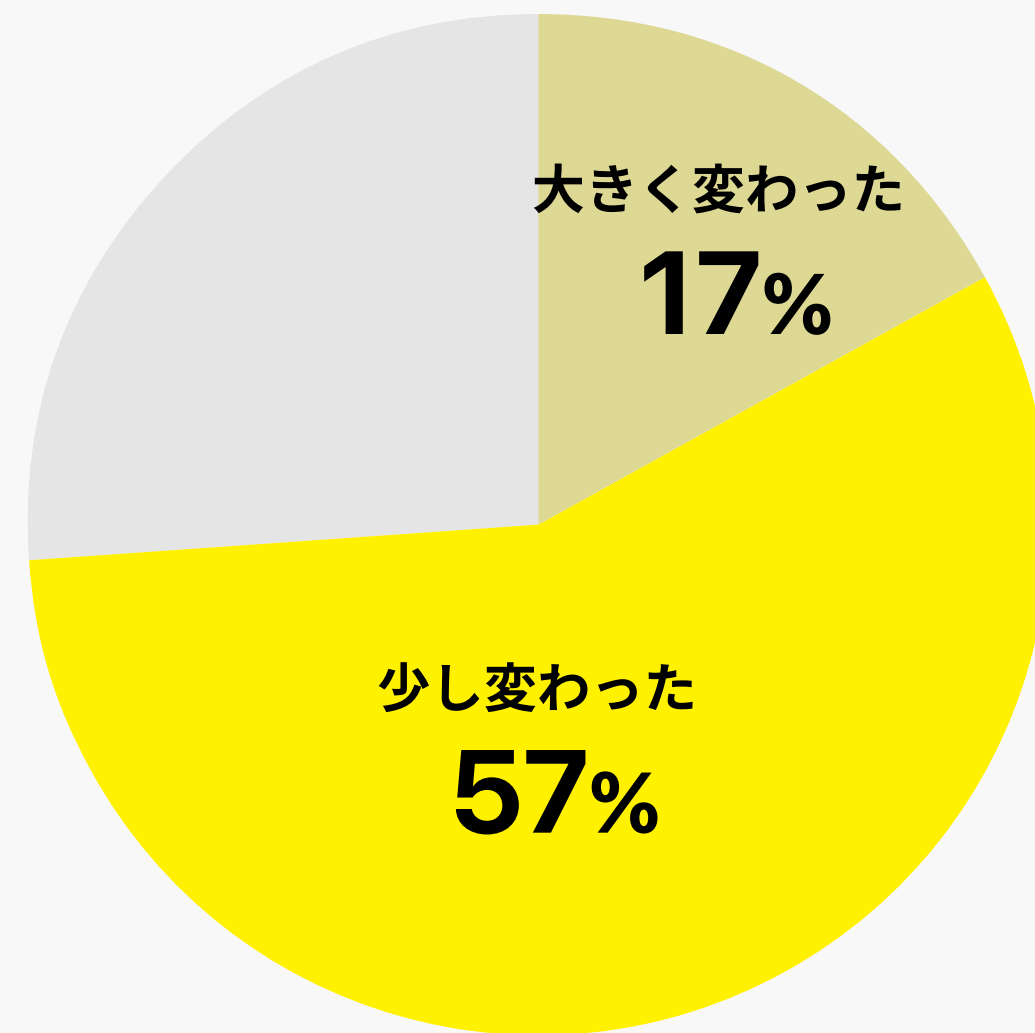
最も興味深かったオンラインイベント



■ イベント参加者 ■ イベント非参加者

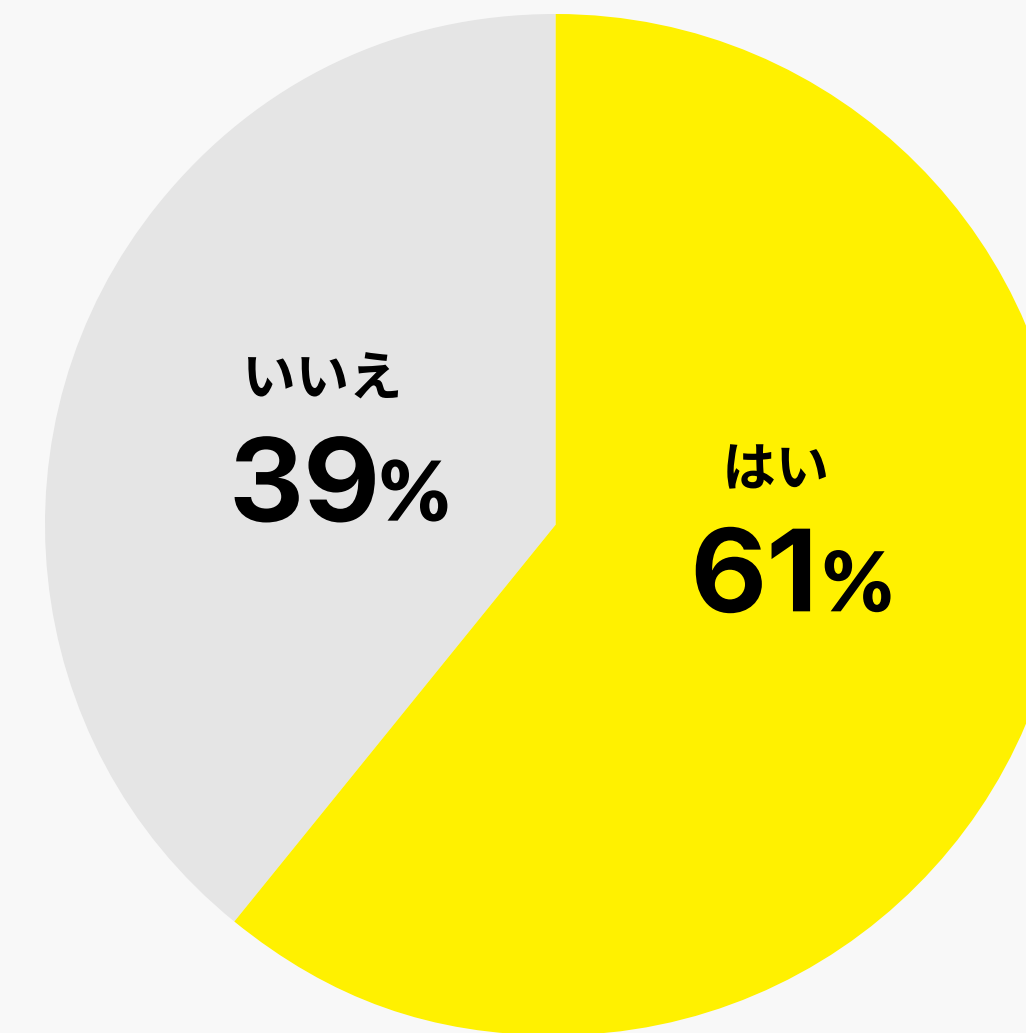
【空間活用・収納術】は、リノベ経験者や収納スペシャリストの自宅というプライベートな空間を見せてもらえたり、自身の悩みをじっくり相談する機会が少ないテーマであるため、人気が高かった。イベントとしては、コロナ禍でも安心して習い事ができるオンラインレッスンが人気であり、応募者数が多かった。

暮らしや住まいに対する考えの変化



74%
が考え方が変化したと回答

実際の暮らしや住まいは変化したか



61%
がはいと回答

ラボ活動を通じて、**60%以上**が
暮らしや住まいへの考え方や行動が変わったと回答。

食育の仕方を教わって早速実践した。住み替えの失敗談を聞いて自分は気を付けようと思った。ゲストが実際に使っているグッズを買いに行った

(女性・40代・子供あり)

主人が激務で子育てがほぼワンオペなので、同じようにワンオペでも上手に子育てしてらっしゃる方がたくさんいると知ってなんだか元気が出ました笑

(女性・40代・子供あり)

齋藤アリスさんの「片付いて広さを感じられる空間は意外と居心地が良いですよ」という言葉、全て見直すきっかけとなりました。

(女性・40代・子供なし)

移住ミーティングで、実際に移住してお仕事も生活もされている先輩の体験談と質疑応答もできたので、気になっていたことや悩みが少し解決しました。

(男性・30代・子供あり)

クリスマスリースの体験で自宅ではできないと思っていた本格的なものづくりの創作ができることを体感できる良い経験でした。

(女性・30代・子供あり)

実際のお住まいで活用されている収納術について、それぞれその収納方法を選択した根拠を教えていただくことで、収納の考え方やモノの持ち方について価値観を変えるきっかけになりました。

(女性・40代・子供あり)

専門家のアドバイスや体験談が意識改革、行動変容へのきっかけとなっているが、質疑応答や他のラボメンバーの話が聞ける双方向的コミュニケーションなど、オンラインイベントそのものの特性が、影響していた。

0歳の子供がいるので、外出を伴うイベントへの参加自体は諦めることが多かったのですが、自分が興味のあるオンラインイベントに参加するようになりました
(女性・30代・子供あり)

リフォーム業者に電気のスイッチを集中操作できる配置になるよう提案の依頼ができた
(男性・40代・子供あり)

子供たちの成長や家族のライフスタイルの変化に合わせて、改造したり組み替えたりすることへの抵抗少なく取り組むことができそうです。
(女性・40代・子供あり)

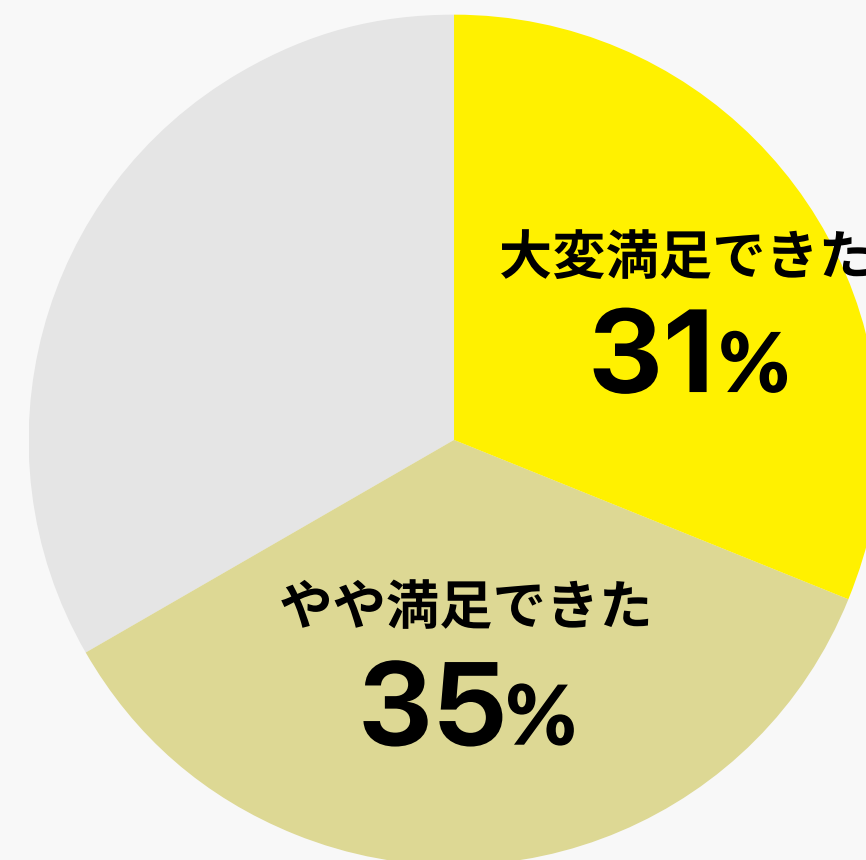
コミュニティ内で教えていただいた方法でお花を購入し楽しくお花を飾るようになった。またラボ内で興味を持ったことに関するアンテナを張れるようになりました。
(女性・40代・子供あり)

UXDの参加による意見交換のおかげで、色々な家族の形の話をするようになり、子育ての話や移住の話を妻とよくするようになりました
(男性・30代・子供あり)

インテリアをもっと楽しめるようになりました。クリスマスリースのように本物のグリーンを取り入れるべく、現在観葉植物の検討もはじめました。
(女性・30代・子供あり)

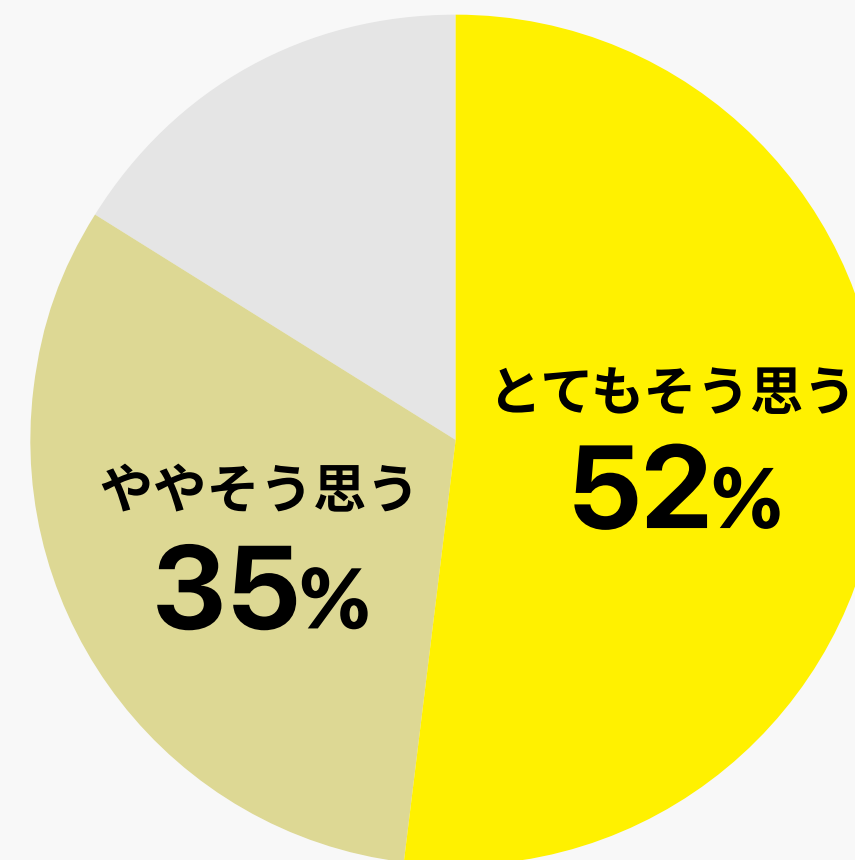
**住み替えや住まい改善のリテラシーを高めたことで、実際に行動に移していることに加えて、
マインドセットの変容も見られることから、スポットだけではなく
継続的な態度変容が予想される。**

暮らしや住まいに対する考えの変化



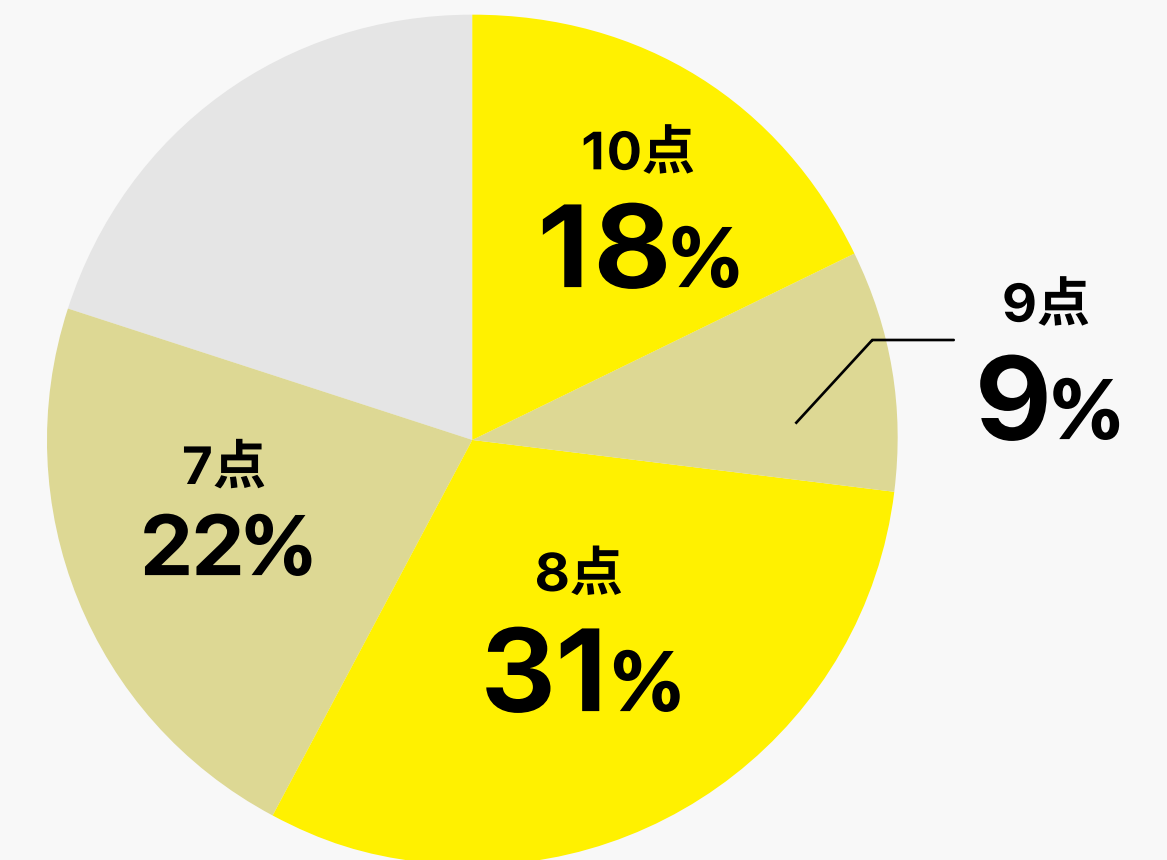
66% が満足できたと回答

今後も参加し続けたいと思うか



87% が継続したいと回答

知人へのおすすめ度(10点満点)



80% が知人に勧めたいと回答

65%以上が「満足できた」80%以上が「続けたい、知人に勧めたい」と回答。



探索期

したい暮らしを幅広い興味領域から探索する層



具体的なイメージ

賃貸住まいであったり、結婚・子育てなど、ライフステージの転換点にあり、将来のライフスタイルを思い描いている人たち

UXD KURASHI LAB.の提供価値

多様な価値観に触れられる

まだ興味領域が特定されていないため、**限定されないテーマで会話できる場**を求める

共通する価値

- ・「視野が広がる価値」
- ・「自分でもできそうだと思う価値」
- ・「具体的な解決策のヒントが得られる価値」

検討期

したい暮らしを実現するため具体情報を収集している層



住み替えやリフォームなどを検討し、具体的な活動を開始している人たち

解像度が高い情報に触れられる

営利性や偏見がなく中立で、自身の知りたい部分を深掘できる情報を求める

- ・「異なる視点を持つメンバーが参加している価値」
- ・「オンラインで他者と繋がれる価値」
- ・「安心・安全に信頼できる情報を収集できる価値」

調整期

新しい生活環境をしたい暮らしに向けて適合させていく層



引越や住まい購入後など、ライフスタイルが変わり、当初思い描いていた暮らしと現実とのギャップを解消していこうとする人たち

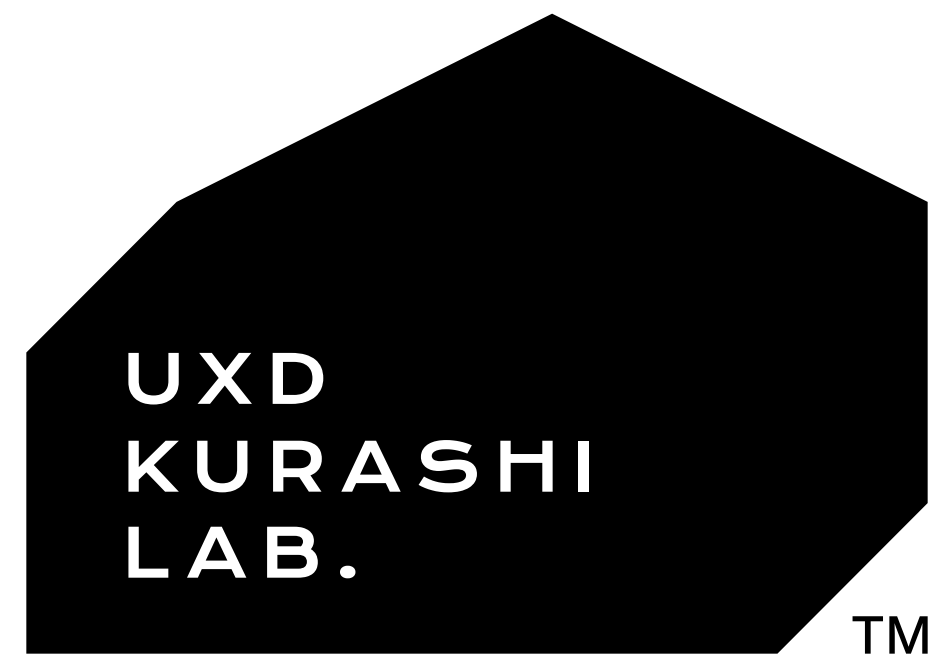
同質性の高いメンバーとの意見交換

現在の住まいに対する**自身の課題感に共感もしくはすでに解決している参加者との情報交換**による気づきを求める

おわりに

昨今、多くの情報があふれる一方、人と人との接点は希薄化する中で深く探求することや議論することはどれだけあるでしょうか。UXD KURASHI LAB.は、「暮らし」という共通のテーマに対し、多様な方が集い、それぞれの経験を共有したり、オンラインで同じものを体験します。3か月という短い期間ではありながら、ラボメンバーの多くは、今までになかった気づきや行動に移すきっかけを得ました。同じ属性・環境の人や、同じ関心を持つ人、一歩先で実現している人を知ることが「知りたい」「やってみたい」という行動の原動力になります。一人ひとりの「暮らしの知」の探索と深化が、新たな価値創造へとつながるようにUXD KURASHI LAB.は挑戦し続けます。

「暮らしの知」の探索と深化を、新たな価値創造へ。



[お問い合わせ] <https://uxd-kurashi-lab.com/contact>